

【大規模建設事業評価監視委員会でのご意見及び対応方針】

■ 【再評価】新潟駅付近連続立体交差事業

項目	委員のご意見	評価監視委員会のご意見を踏まえた今後の対応方針
① 意見・要望 (横尾委員)	高架下空間の創出・利用について、一般市民が自分たちの活動の発表の場、イベント、出店などの経済活動について、便益項目として想定する考えはあるか。	今後、高架下交通広場や駅前広場が段階的に供用され、活動の発表の場やイベント、出店などの経済活動が想定されるため、事後評価で検討していく。
② 意見・要望 (椎谷委員)	今回、連続立体交差事業の工事が遅れるという説明を受けた。新潟駅の利用者から、万代広場の工事で不便だ、という意見がたくさんあるので、不便を感じている利用者に、工事が遅れることをしっかり周知してほしい。	連続立体交差事業で工事が遅れる場所は、万代広場ではなく、新潟駅から離れた側道部分。側道沿いの地域の方たちに、工事予定を説明していく。 また、万代広場工事では、歩行者動線を確保しながら、やりくりして工事を進める必要があり、新潟駅の利用者に不便をおかけしている。連続立体交差事業としても、万代広場工事がより効率的に進むための取組として、整備前の側道用地を活用して広場工事の車両動線やヤードを確保するなど、事業スケジュールの調整を図っている。 今後、万代広場の段階的な供用や歩行者動線の周知、利便性向上を図っていく。
③ 意見・要望 (紅露委員)	新潟駅や駅前広場のリニューアルは、生涯に1回できるかできないかくらいの大きな事業なので、市民の皆さんのワクワクどきどきを刺激していただけると良い。	令和4年度の全線高架化を契機に、段階的に交差道路の開通などを進め、新潟駅周辺の道路交通の利便性向上を図ってきた。 今後も、新潟駅バスターミナル開業や万代広場の段階的な供用開始など、着実な事業の進捗を図るとともに、事業PRなどを実施し、市民の期待に応えていきたい。